

近藤忍通信

選挙特集号

七名落選の大激戦

木更津市市議会議員選挙

来る四月十五日に選挙期日告示、四月二十二日に投票日を控えた今回の木更津市議会議員選挙は、定員数二十八名に削減された議席に対し、現職候補二三名、元職候補一名、新人候補十一名が立候補する近年にない激戦となる見込みです。岩根地区は住民数が多い割には地元候補者が少なく安心だという声も聞きますが、**選挙に安心という言葉はありません。**特に今回の選挙は厳しい戦いとなることは明白です。今こそ、地域で必要とされる候補者に投票をし、皆様の意思を市政に示して下さい。

整備遅れる岩根地区

木更津市は財政難を理由に公共設備投資や住民サー

ビスを大幅にカットしてします。特に区画整理等による新しい街づくりが進む請西や波岡方面に比べ、岩根地区の道路や水路等の社会資本整備はかなり遅れている状況にあります。またゴミの不法投棄も多く「住み良いきれいな街」には程遠い状況にあります。

「近藤忍」は挑戦します

このような地域の問題は、地元選出の議員の働きかけがなければ解決が遅れると言われています。「近藤忍」は唯一の地元候補者として江川区・万石区・西山区の推薦をいただいています。

「近藤忍」は地域の期待を担い、地元の様々な課題解決、そして木更津市の変革に全力で挑みます。

環境を“思う”

住み良いきれいな街目指して 未利用地問題と不法投棄

木更津市は昭和初期に軍都として繁栄し、木更津駅から各基地や周辺工場への鉄道引き込み線が多く敷設されていきました。基地への線路は自衛隊基地なつてからも利用されましたが、自動車の普及で使用されなくなり三十年以上が経過してきます。これらの土地は現在では国有地となつていますが、雑草が繁茂し、昨年には枯れ草火災が発生、周辺住民に被害を生じさせました。



国有地扱いの未利用地。雑草が生い茂っている。

国の税金を使って未利用地の監理を続けるのではなく、道路用地として整備して地域生活の利便性向上に寄与するか、民間に払い下げ税金を徴収できる土地に変更する等、公共用地の活用によって生まれる収入を検討し市の財政力向上を進める必要があるのではないかと思います。



高柳の不法投棄現場。廃車が放置され周辺にゴミが散在する。

また高柳の西山地区にある不法投棄現場では、フェンスで取り囲み「不法投棄禁止」の看板を木更津市が立ててあるにも関わらず、その隣に廃車が放置され周辺にゴミが散在しています。聞けば地主は解決する意思を全く持っていないようで、周辺の住民からは「市で何とかして下さい」と言われています。このゴミ山を個人財産と言えるのか解りませんが、このような財産の保護は公共の福祉の前に制限されるべきであり、そのような条例化が求められていることを痛感しました。

期日前投票の奨め

投票日二二日(日曜日)午前七時から午後八時までの投票時間内に投票に行くことが難しい方は、四月十六日(月曜日)から二二日(土曜日)までの午前八時半から午後八時までの間に木更津市役所北側にある選挙管理委員会の入っている棟で期日前投票が行えます。積極的に利用し、貴重な投票権を放棄することがないようにお願いいたします。